

1. 件名：原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談（4）

2. 日時：令和5年6月28日（水）9時40分～11時35分

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、伊藤主任安全審査官、菅生主任安全審査官、
本多主任安全審査官、上野管理官補佐、立元管理官補佐、
澁谷安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 部長 他4名
安全・核セキュリティ統括本部
統括管理室 技術副主幹
安全管理部 課員

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料：原子力機構のバックエンド対策の現状と課題＜前回会合のご質問コメントへの回答ドラフト版＞（第7回バックエンド対策監視チーム会合資料案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁渋谷です。本日お集まりいただきましてありがとうございます。バックエンド対策監視チームの会合につきまして5月6日に開催しまして、
0:00:12	もう1ヶ月ほど青戸たちましたところから、次回会合に向けての準備状況等について機構側から説明をしていただきたいと思います。
0:00:23	それではよろしく願いいたします。
0:00:29	それではお手元の資料に基づきましてご説明をさせていただきたいと思います。本日ご用意した資料については、
0:00:41	原子力機構バックエンド対策の現状と課題という内容の、前回会合のご質問コメントへの回答ということでご用意させていただいております。前回の関心会議の中で、これについて
0:00:59	次回、回答するようというお話の中で作ってございます。それから一番最後のページから2枚ですかね、につきましては、
0:01:12	途中で、規制庁さんからいただきましたコメントで、再処理の監視チーム会合の進捗のやり方。
0:01:22	そういったものを参考に、進捗45施設の進捗状況を確認できるシートを作るようにと。
0:01:33	いうお話がありましたので、それを呼び出す形でこの資料の中に入れた、作っているというのが現状でございます。
0:01:43	それではちょっと長くなりましたけども元のところ、ご説明させていただきます。
0:01:49	まず2ページの目次。
0:01:52	すみません資料の画面共有しないと、申し訳ありません。
0:02:04	はい。
0:02:07	見えておりますでしょうか。
0:02:09	はい。わかります。
0:02:11	ありがとうございます。これが表紙となります。
0:02:15	目次ですけれども、バックエンド対策の方針と組織について、それから廃止措置について、廃棄体化埋設について、技術開発についてという4項目です。
0:02:29	まず組織と対策方針というところですが、ちょうど駆け足でご説明させていただきます。まず、方針と組織ということで、まず全体戦略を説明することと、
0:02:44	佐藤勝本部の役割を説明してくださいというコメントでした。それなのでこの1枚目につきましては、バックエンド対策、
0:02:54	機構としての学園対策の必要性と重要性ということで3項目。
0:02:59	やはり根占甘い措置の経験とか、その辺が少ないということと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:04	将来処分の運用開始になっても廃棄体が準備がちょっと難しいというところ、それから実際自走式の廃止措置をやるための、
0:03:14	個別拠点でのスゴウ対応がまだ整備できないという、ちょっと課題が、を挙げましてその改正、解決策として、
0:03:24	キャラクターゼーションに応じた措置経験の積み上げですとか、廃止、廃棄体化基準を作って、施設を整備するというところ。それから技術開発に関しては
0:03:38	草創期の技術開発当時現場で進めるという対策を挙げております。その下でそれぞれの具体的な項目ということで、
0:03:49	まだ中長期に従って戦略を定めているというところでございます。
0:03:57	その具体的な中身ということで、ここはバックエンド統括本部の役割ということで、保守側を書いておりますけども廃止措置につきましては、いわゆる3拠点プロジェクトチームと、
0:04:09	ということでそっち廃棄物処理のところを全般的に、特に数の多い、施設の数が多い。
0:04:19	左3拠点を中心に、安泰。統括本部と人事交流や情報共有をしながら進めていくということと、当然その3拠点で、
0:04:32	られた知見等については、他拠点にも展開していくということを進めていきます。それから、次の右に行きまして技術開発に関しては、
0:04:43	ご説明しました通り、技術は開発の戦略を作りましたので、それがバックエンド統括部が中心になってですね、拠点のニーズを吸い上げたり、
0:04:55	連携したりして進めていくという形でやっていきたいと考えております。
0:05:03	それからその下の段の左ですけれども、核燃料廃棄物処理につきましては、今き廃棄体製作基準検討委員会というのを作りまして、全拠点のですね、バックエンド関係。
0:05:16	担当部署を集めまして、バッグイン統括本部の廃棄体化の、それから処分の部屋、一戸八尾と共同で事務局になってですね、進めています。
0:05:30	その人材育成ですけれども、磯知講座など将来の若手人材を育成するとか、そういったことも保守側に、
0:05:40	統括本部が教育をしてですね、マージン、またその人材をうまく活用するための人事交流性などおつしながら、
0:05:52	進めていくと、そういう形で中心的役割を果たしていきたいと考えております。金。以上までがちょっと役割分担になります。
0:06:02	今回繋がりましたか。よろしいでしょうか。岡井です。はい。大丈夫です。続きましては装置について、岡沢さんの方からご説明いただけますでしょうか。原子力機

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	構の北川です。はい措置について説明させていただきます。前回の関心会合です ね廃措置に進まない課題等ですね
0:06:22	説明して45施設の計画を変えるようにして欲しいということで1ページに7ページ目ですけども、はい措置今取り組んでおりますけども取りなかなちよっと進まない現状五つほど赤井。
0:06:36	ところが主な理由になりますけども、こういったことでなかなかちよっと進まないところがあるということで、進まないとですねやはり施設っていうのは高経年化していきますんでリスクとその維持管理のコストが増えていくということが、
0:06:53	機構にとってもあんまりよろしくないということで、大方針の方に見直して見直して、どういふふうに見直さというと、廃措置の優先順位を決めて限られた資源を集中していった廃措置を進めて、
0:07:06	その灰措置を進めたことによってやられた現象次のまた廃止措置に減少を当てていくということに方針を見直しました。廃措置の目標も、もともと建屋を解体するまでいければいいんですけど、建屋解体とまたその、
0:07:23	予算がかかりますので、原則として管理区域解除までと、ここまですれば、基本的には施設の抱えるリスクっていうのは、一般施設と同等になるかなと思います。ただ、
0:07:34	上の方にもありますけどカクウ拠点ですね廃棄物の置き場がかなり逼迫しておりますので、そこに解体廃棄物を出していくと、これでやってしまうということもありますんで。
0:07:49	その施設Ⅱに廃棄物を受けられるように、第二種管理区域の意向とも踏まえて、廃棄物が最終的出せれば、いつでも管理区域が解除できると。
0:07:59	いようなところに持っていきたいと思っています。優先順位の考え方としては施設が抱えるリスクを最優先としまして次に費用対効果を考慮しています。
0:08:10	8ページ目は、リスクの考え方なんですけども、原子力機構は他の原子力事業者とちよっと異なりまして、様々な原子力施設持っているのその中に
0:08:22	リスクの元となる放射性物質とか危険物っていうのがあります。
0:08:27	運転時はそういったものが非常に多いんですけども、やはり措置段階になると、そういったものが施設の中から払い出されたりいたしますので残るのは汚染レベルのような、プルトニウムとかウランといった汚染のレベルが、
0:08:41	残ってくるということで、リスクといたしましてはただプルトニウムとか流石に漏えいしてしまいますと、
0:08:54	放射線等の影響からですね、大きいので、放射性物質の閉じ込め機能程度をリスクとしてとらえまして、核種としては、プルトニウムということにしてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:09	現在鋸廃止措置を進める施設の中からですね、プルトニウムです等を扱っている数値取り扱い量が多くて、その取り組み機能の管理が特に必要な、
0:09:21	プルトニウム系のグローブボックスセル 8 施設っていうのを、敗訴以浅せとしました。
0:09:27	そのあとに費用対効果ということで年間の維持管理費が削減できたり、今は措置すぐできる場所を優先的にやるということで、
0:09:38	こん中長期期間におきましては再処理特権等ですね 4 施設を優先的に進めることとしております。残り 32 施設につきましては、
0:09:48	残りのプルトニウム取扱施設 4 施設を優先して進める他にウラン系とか、原子炉もありますけども、そういったものはリスク低減予算の状況に応じて、
0:10:00	また優先条件として実施する予定にしています。
0:10:03	9 ページはそのAです。それから、10 ページは、す、45 施設の配水地の実施状況見通しということで先日、規制庁様から、
0:10:16	案をいただきましたものが、一番最後のページにありますけども、こういった令和 4 年度の実施計画と実施内容、それについては評価を踏まえて、提案しますけども、内容、令和 5 年度の計画、
0:10:34	いうのをお示して、一番右側に現在取り組んでる中での課題でありますとか、というものをご報告したいと思ってここの違いを書きについては後でちょっとご相談させていただきたいと思っております。
0:10:48	それから、その次のページがですね優先して取り組んでいます 4 施設のですね、計画なんでこちら令和 6 年度に概算要求しております、それが決まれば、年内には出せると思っておりますけども。
0:11:05	今画面共有してますのが今考えている案でございます、お示しするかどうかちょっと今考えて、案を、はこんな状況で、
0:11:18	特に黒い系統は本四半期中に終わるんですけどもその他の 3 施設は、次の令和 17 年ぐらいまでかかるような見込みで、
0:11:32	考えています。
0:11:36	ごめんなさいプールには令和 10 年度で終わるような見込みで今考えていますけども今予算の状況とかを勘案して決めたいと思う。年内に決めたいと思っております。
0:11:47	それから、13 ページは、廃止措置に取り組んでる中の課題と対策っていうのをご説明させていただきまして、前回、
0:11:55	ご説明したんですけども、その 13 ページにある課題 1 と課題 2 の中に書いてあることと、その次の 14 ページ以降にある対策と取り組みがちょっと抜けたり、マッチングしないというところがありますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:09	そこをマッチングするように、抜けがないようにですね、追記させていただきました。それから 17 ページはですねモデル事業っていうものがどういうものかっていうことで、
0:12:21	モデル事業は、そもそも一番冒頭に申しました通り、なかなか廃止措置が進まないということで、その廃措置の成功事例、廃措置の完遂ですとか、効率化を進む目的としては、
0:12:33	取り組みでございまして、
0:12:37	先ほど一番最初の運営するスライドにありましたけどいろんな課題があるところを工夫してですね、とにかくその敗訴値をですね、
0:12:48	効率的に、早く終わらせようというような取り組みでございまして、今再処理特権とプル研究 1 棟で昨年度から着手しております。
0:12:58	今までられてる成果といたしましては、
0:13:02	1、3 年度契約ですと、例えば 1 年間で現場で工事ができるのは台を多くても 5 ヶ月程度でございまして、ある工程をやると 10 数年かかるものが複数年契約であると、16 ヶ月ぐらいに短縮するとかですね。
0:13:18	単独契約だと重複作業が出てきますんでその分、複数にするとそういったものがなくなるので、経費も 2 割程度削減できるということと、拠点と、このバックエンド統括本部間のタイムリーな情報共有を今、
0:13:34	週 1 程度で打ち合わせ等やっておるんですけども、そういったところでは措置の進捗状況ですとか課題等をお互い協議した上で、サポートするところはバックイン統括本部としてもサポートしていくというようなことで今効率的に死んでるところでございまして。こういった、
0:13:49	成果はですね、バックエンド統括本部を共有して、
0:13:53	他拠点、元算んサイクル研大洗研いろんな施設でそれぞれの特徴の文化がありますんで、そこを踏まえた上で後続の廃措置を展開する、行う部署に展開して、
0:14:05	その機構内の組織定着を図っていきたいと思っております。はい措置は以上です。
0:14:14	機構が続きますして廃棄体等の埋設についてご説明いたします。
0:14:21	こちらの前も示してますけども、全体の計画で今回はですねこのうちの赤枠の部分ですね、原子炉系廃棄物への対策を進めておりますんで。
0:14:33	この中で、キャラクターゼーション状況と処理処分の間瀬戦略というところを、
0:14:40	ご説明するということを予定しております。次お願いいたします。
0:14:46	こちらがですねまずキャラクターリースリレーション関係のですね標準マニュアル類で、緑色、真ん中の緑の下の方にいくつか並んでるんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:57	今日ラックセルエディション中でもですね、放射能評価のところは非常に難しいので、こちらはこういった標準マニュアル、喜楽テーション行うために標準マニュアルを作って、
0:15:09	ですですねこれに基づいて進めているというような状況です。
0:15:13	次お願いいたします。
0:15:18	これ、戻ってます。
0:15:24	はい。そこです。はい。こちらがですねキャラクターゼーションの手続きで一般的に日本国内世界中でやられてる方と同じなんでここはあまり説明しませんけどもこういった手続きでやっているというのは、
0:15:39	をですねしていくスライドです。次お願いいたします。
0:15:43	それからこちらがですね、機構内でのパテゼーションの状況で、黄色の、
0:15:51	色をつけているところが原子炉系その中でも赤枠のですね、原価研の研究炉等、ふげんの原子炉ですねここをまずは、
0:16:01	処分、
0:16:04	一番最初に捨てる廃棄物として進めているところで、
0:16:08	ほぼキャラクターゼーションあと2、3年で終わってですね、廃棄体を作り始めるような状況にきているというようなところですよ。はい。
0:16:20	次お願いいたします。
0:16:22	こちらの内容物の確認を、状況の例なんですけど、左側が普通の圧縮されていない廃棄物はまだ原価検討外見ではですね。
0:16:36	ドラム缶を開けて、もう処分できるような分別を行っておりますのでこういったものを分別しているかというようなところを挙げておりますそれから右はですね。
0:16:48	祝他の中に、どんなものが入ってるかというものも、原価県ではですね、大体 900 本以上、
0:17:01	中身を確認してましてそういった所、情報をここにまとめております。次お願いいたします。
0:17:08	次からの原価県で行っているですねきや、こちらの評価関係のですね状況のご説明になりますけれども。
0:17:17	真ん中の
0:17:19	表にあります通り研究炉JPDRとかですねJ-R II III IV、それから長佐口線試験室のホットラボ、この辺りの
0:17:32	キャラクターゼーションとか放射能の評価を進めていてですね。
0:17:36	ここにある通り、新原も終わっているというようなものでほぼ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:41	終わりつつあってですねあと数年で原価点で持っていたに持っているですね2万本くらいの廃棄物はですね、廃棄体にできそうなめどがつきつつあるという状況です。次お願いいたします。
0:18:00	言うと、これがですねJRRⅡⅢ、それからJPDRでスケーリングファクターと検討しているようですけどこういった、
0:18:12	検討をですね行って効果報告書にしたりしているというような状況です。
0:18:19	次のページお願いいたします。それから、これはJPDRとかですねJ-RⅡⅢの例ですけれども。
0:18:28	大体こんな方法で放射能濃度評価はですね、理想というようなところを簡単にまとめておりますが、基本的にはスケーリングファクターと
0:18:39	平均を表、平均放射能濃度法で対応しようと考えております。
0:18:46	次のページお願いしますこちらが、今度は縮退位ですねいろんな施設からの廃棄物をまじったものをどうしてるかというようなところで、つまり古いやつはですね情報も少なくて、なかなか難しいんでまずは少し、
0:19:00	新しい目のですねある程度、
0:19:05	出てきた施設が限定されるようなものを中心に検討を進めて進めようとしております、そういった手順をここにまとめておりますけれども。
0:19:16	今のところも幾つか、まずγ線を測定してですね、その中から今度はさらに重要核種を選んで測定していくというようなステップに、
0:19:31	移る手前の部分ですね、ガンマ線測定というようなところを今進めているというところ です。
0:19:36	次のスライドをお願いいたします。後、選んでいただく分ですが松尾久米田と思 います。お願いします。それから全体のスピーカーとフィールドワークを考慮した。
0:19:49	続いてますけれども、赤井さんの下の二つを見ていただくとわかるかと思うん ですけども、左にあります通りまず、保管廃棄物の安全を確保するというこ とで、
0:20:02	点検等で閉点検とあとストリームは、他の廃棄物の学研都築店別のものは、周す るのに詰め替えするなりといったものをまずは継続的に続けていくと、いうことと、
0:20:16	それからですね潜在リスクを減らすためにですねできるだけ早く処分していこうと いうことで、まだ処分場がないんですけれども、そういう状況の中でも、
0:20:27	廃棄体を作っていこうと、今しております、そういったところを進めているというこ と、あとは処分するにあたってはですねできるだけ早くさそいきたいんで、
0:20:43	簡単なもの、かつ量の多いものから今、処分を専門廃棄体を作ろうとしているよう な状況です。
0:20:52	次のページお願いします。はい。次がですね、原価研大洗研の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:01	処分に向けたスケジュールで、真ん中にオレンジの線がありますけれども。
0:21:09	ほう素濃度評価原価緩和後 3 年ぐらいで基本的には発生しております。
0:21:16	これに続いてですね、ちょっと上の緑の枠の中の真ん中辺に、
0:21:24	対象廃棄物の了解って言うんですけれども減額有井万本で次に多いのが、大原池野、仙波、それから大森先生、杉猪野が、大賀池野 5000 本。
0:21:34	やらないことでこういった順番で、多分、こういったんで、何かここ書いてないんですけど一番上がふげんで大体 5 万本ぐらいの廃棄体を予定しているということで、
0:21:47	ふげんは、一番早い、この青野青野スケジュールで今対応していると。
0:21:54	というような状況です。
0:21:56	それから次のスライドをお願いいたします。いたします。こちらが、
0:22:01	会計廃棄物の確認要領で意見交換をしたいというような、
0:22:07	要望をですね前回お伝えしてるんですけども、
0:22:11	昨日前回も申しました通りですね、わかんないんで、判断していただいていることはなくてですねJAとしては、
0:22:18	こういう考え方で進めれば、安全上問題ないと考えておりますというところをご説明してですね。
0:22:27	規制の観点から、いや、次、JAさん少し考えが足りないんじゃないですかみたいなところをご指摘いただければと思っておりまして、
0:22:38	まずはやっていきたいというような項目を左側の表にまとめております。
0:22:48	それから右の方はですねまだやりたいんだけどもやっぱり、こうやれば絶対安全だっていうところをまだですね、JA内でもまとめきれてないんでこれ少し、
0:22:58	後の時期になるかなと考えている項目が書いております。以上です。
0:23:06	原子力機構の中澤でございます。引き続きまして技術開発についてご説明させていただきます。いただきました書面等は技術開発どのような項目をどのようなスケジュールでやっているかというふうにいただいておりますので、技術開発の位置付け、家庭もどのように選定したか。
0:23:23	選定した個別のテーマの概要、それからスケジュールという流れでご説明させていただきます。
0:23:30	まず、32 ページでございますが、上の四角は第四期中長期計画そのものでございましてそれを受けまして、今日、下の四角でございますが共通的な課題や将来のバックエンド対策費用を削減するような課題を優先して整理選定しまして、
0:23:49	組織横断的な実施体制を構築するということで、技術開発を進めていくというふうな方針としております。
0:23:55	次お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:57	次はテーマの、どのように選定したかというフローでございます。機構内の共通的な課題を調べるということでございまして昨年度令和4年度にですね。
0:24:08	バックエンド対策に関する開発技術とそれからニーズ、シーズ研ぎニーズにつきまして、アンケート調査を実施いたしました。
0:24:17	そのフローの一番左側、近くでございますけれども回答提案意見等で428件という回答が集めております。
0:24:28	これにつきまして回答の中からそのシーズとニーズがマッチするものを抽出しまして、さらに、その複数も
0:24:37	部署から、ニーズがあるような課題、それから、費用削減が期待されるような課題、そういったものを抽出しまして、最終的には短期的に
0:24:49	概ね3年をめどに、現場での信用を開始するという点が5件、それから中長期テーマとして、概ね6年をめどに審議のかまた実用化のめどをつけると。
0:25:01	いうことに、新聞、合計9件のテーマを選定いたしました。次お願いします。
0:25:08	9件のテーマのがこの方から示しておりますが、一つ、全部詳細はご説明しませんが、一つ目としましては、レーザーによる保管廃棄物の容器補修技術ということで、さびのある保管されている保管用廃棄物の、
0:25:26	汎用機をレーザーでサビ落として、なおかつ、同時にその錆が出ないような加工をするという技術、二つ目は、高エネルギーX線CTを涵養機能廃棄物確認技術ということで、このままでは処分できない。
0:25:40	鉛であるとか製品含む電池、そういったものを認識して、事前に、これが入ってるドラム顔を認識することで合理化を図るというもの。それから次お願いします。
0:25:53	3番目は高線量グローブボックスの遠隔解体技術ということで、高線量のボックスを、人海戦術でその解体するのではなく、遠隔操作で作業するか。
0:26:07	解体することによって、加入者の負担軽減とかを図るということ。それから四つ目としましては、
0:26:13	他の廃棄物の自動点検技術ということで、保管されている廃棄物を従来は人の手で積みおろして、外観を点検して補修するというような流れでしたけれども、
0:26:24	360度カメラを使いまして保管されている状態で、カメラを挿入して点検するというような技術でございます。それから次お願いします。
0:26:36	五つ目は分析前処理の合理化ということで、従来機器分析で例えばここにもicpマスが書いてありますけれども、人の手で
0:26:47	前処理をして機器分析にかけるという作業だったものを、半分自動としまして一体化することによりましてその作業の手間を省くと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:58	いう技術、それから 6 番目は、水銀や放送部外の環境有害物質を含むといった廃棄物につきましては、上手く期間の問題がございますので、なるだけ進出しないような固型化の技術を開発する。
0:27:15	次お願いします。
0:27:18	7 番目としましては、レーザー除染技術ということで、レーザーを当ててその表面汚染されたものを除染するという技術、それから 8 番目は、デジタル技術ということでこれ自体は、特に目的があそこの名称では、よくわかりませんが、
0:27:34	ねらいとしましては個別の技術としましては、今考えているのは、そっちの収納容器が廃止措置で発生する大型の廃棄物ですけれども。
0:27:45	それをどのように切るかによって一時保管容器内に一番密につめ詰め込めるかどうかと、そういったものを変え、検討する技術。
0:27:56	それから最後はロボット技術ということでこちらは、例えば廃棄物の分別であるとか、そういった作業で、作業の安全性や低コスト化を図ると。
0:28:06	技術を考えております。次お願いします。浅井委員スケジュールでございますが、先ほど五つは短期的にファイアする技術それから、四つはチュウチョウ計器ということで、
0:28:19	この表の 1 番目から 5 番目までは、概ね 3 年をめどに開発してそのあとに、現場にこの技術をお持ちして実際に試してみると。
0:28:30	いうスケジュール感となっております。それから 6 番目から 9 番目につきましては、もうちょっと長い期間、やりまして、そのあとに申し上げます。
0:28:40	というような流れで考えております。技術課長につきましては以上でございます。
0:28:50	説明は以上となります。
0:28:54	桂です。ありがとうございます。今、全体を含みますけれども、ご説明がありましたけれども、ではまず最初の 1 バックエンド対策方針及び組織について、
0:29:07	規制庁からコメント等ございますでしょうか。
0:29:25	規制庁イトウですけれども、
0:29:28	説明が以下の 4 ページ目 5 ページ目。
0:29:34	の内容等、
0:29:36	すいません、ちょっとページが飛ぶんですけれども。
0:29:39	13 ページから 16 ページでどういう関係なんでしょうか。
0:29:57	東京本社の前です。先ほどの一番初めの上の、組織に関してはバックエンド統括本部がもう全体を、
0:30:08	IV マネジメントというか、等を
0:30:14	ガバナンスしてですね、それでこれ、この対策を進めていくというところにおけるバックエンド統括本部の役割を説明して欲しいというお話でしたので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:26	この表を作っております。先ほど配車情報で進めてますものに関しては別ではありませんで、この中での一環として、
0:30:39	廃措置として進めていく、経験、施設の特性における
0:30:45	経験積み上げですとか、ここにつきましては先ほど進めているモデル事業、そういったもので経験を積み上げていくということでやっておりますし、
0:30:56	それ以外の技術開発でありますと費用の削減のために技術開発を行っているということで、基本総合、総合的に、
0:31:06	方針は、リンクした形で、当然やっているというふうに考えておりますそういう関係にお書きになっております。
0:31:16	系統規制庁の伊藤ですバックエンド統括の役割を知りたいというよりは、全体の戦略を教えてくださいという話だったと聞いていて。
0:31:26	戦略の全体像は、40 ページ 5 ページで示しつつ、その個別具体の課題に対する、
0:31:36	取り組みを 13 から 16 で、部分的には説明しているという。
0:31:44	ことなんですかね。
0:31:47	おっしゃる通り、の考えでございます。
0:31:52	もう少し確認しますと、13 ページ、2 とかで課題 12 ってあって、
0:32:01	課題っていうのは、
0:32:05	第 4 中長期計画食う。
0:32:09	ケースの戦略を立てるっていう、
0:32:12	前提としてあった課題なのか、或いは、
0:32:20	先に、
0:32:23	これはそれと、
0:32:29	1314 ページの課題が先にあるってそれを踏まえて戦略を立てたっていうことなんですかね。
0:32:37	その順番通りだと考えておりますこの課題 1 課題につきましては前回のバックエンド監視委員会の中でね、お話をさせていただいてそれは、
0:32:48	第三中長計から第 40 条系に関わる、中での課題としてご説明しておりました。しかるに先ほど、
0:32:58	とは、冒頭の方でご説明した内容につきましては第 4 町長計を策定する中に入れたものということですのでこの課題 1 には、余すことところなく、
0:33:10	一応第 1、第 4 長計の先ほどの方針に、取り込む本で作っていると考えております。
0:33:18	規制庁イトウですありがとうございます。
0:33:28	4 ページと 5 ページの関係は、4 ページの具体 5 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:33	その説明をしているっていうことでもいいんですかね。
0:33:38	はいその通りです。4 ページは方針とか、やり方というか、こういうスコープでっていうところを 4 ページに説明しまして。
0:33:48	その具体的な会議の名前ですとか、委員会の名前ですとか、どういうチームでやるとか、そういった具体かはその 5 ページに示させていただいてますこれは
0:34:01	進める中での、いや一部というところではありますけどメインとしてはこの四つで対応していったというようなご説明として組み立てました。
0:34:13	規制庁系井です。ありがとうございます。
0:34:17	会合でのコメントの中では、
0:34:21	そのスケジュール感を持ってどう進める。
0:34:27	かっていう点で全体的な戦略を教えて欲しいというコメントをしてるんですけども、何かこれをやるっていう説明には名はされていると思うんですけども、じゃあ、
0:34:39	それぞれが今後どう展開していったって、
0:34:44	どこにその結果を、
0:34:46	ウォーターにフィードバックしてとか、どう段階的にするのか。
0:34:50	みたいな説明が、いまいち見えてこないんですけども。
0:34:56	そういう説明は可能なんでしょうか。
0:35:05	それについては後半の各個別の、当然ながらその全体戦略は、こういう形でマージしながら作ってますけども。
0:35:14	当然廃止措置それから、はい。廃棄物処理技術開発については、先ほど個別の項目でご説明した通りのスケジュール感になっておりますので、
0:35:26	当然この中で決めたものを、各個別の分野に展開していくという形での戦略と考えております。
0:35:35	当然、うし示すとすれば、それが府のそのスケジュールを合わせるっていう形になると思いますけども。
0:35:43	それよりは括弧別でご説明した方が合理的かなというふうな形でこういう組み立てをしたという状況です。
0:35:52	福士さんです。わかりました。
0:35:57	固定資産の廃止措置のところは、どういうタイミングで、
0:36:03	各拠点に、
0:36:06	どういった情報を展開をするのかとか、そういう何でしょうねスケジュール感みたいなものはあるんですか。
0:36:15	それ何年で。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:17	はい措置を進めるのかっていうのは2ポツの廃止措置のところ、今整理して、今後示していただくということだと思うんですけども。
0:36:34	基本的にはですねプロジェクトチーム会合につきましては。毎月のチームリーダーの会合というのをやっていますし、
0:36:44	やはりタイミングという意味では、まず、モデル事業とか、そういったものを進めて、特に施設の多い3拠点チームの中で、
0:36:56	まず進めた実績を作った上で、ふげんふげんの上もんじゅとか、そういったところで進めてはいますので、それぞれのある、そのモデル事業の1、保健所に特化したところで過ぎていきますので、
0:37:11	営業企画部についた段階の中で、情報共有をしていくのかなっていうふうには考えております二段階ですね、まずは立ち上げたばかりのチームですので、
0:37:22	まずはこの中でしっかりと実績を積み上げていくという考えでそのまま全体展開をそのあとという考え方でやっております。その目安を幾つにするというのは、
0:37:35	まずその勤務の実績がまだ上がるまでは、ちょっとその辺は、ちょっとのか、考えとしては、まだ管内というところでございます。
0:37:52	5ページは人材育成のところっていうのは、
0:37:56	何でしょうね。
0:37:59	これは何、そのマネジメント経験を積むとかありますけれども、
0:38:05	拠点の中で、各拠点の中で、
0:38:10	廃止措置を指導できるような人材を、何年でこのぐらいふやしていくとかっていう何かそういう計画はある。
0:38:23	東京事務所原子力機構の目黒です。
0:38:29	人事交流はよやっと始めたところではありますけれども、例えば今原価減で進めている排出モデル事業に関しても、そのプロジェクトをメインで引っ張っているのはその前に、とか損分で、十分な経験を積んだ人間をそこに充ててっていう形で、
0:38:45	個別具体的、的にちょっとまだ動いてる段階です。今後どういうふう、当然し、
0:38:54	必要な人材、必要な人数ってのはある程度わかりますけれども、なかなか全体的同時並行的にやれる状況ではないので、まずは優先的に廃止措置を進めていくところに、
0:39:08	それを進められるだけの人材をまずは準備しようと思っておりますけれども、今、各店にどういった人材がいるかっていうような調査も含めて
0:39:19	ようやく取りかかったところですのでまだそこは具体的な計画には落とし込めていないという状況になります。
0:39:27	規制庁井戸ですけども、その目標設定ってどうしてるんですかっていう質問があったんですけど、その具体的な目標まではいけないってそういう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:37	ことになるんですかね、回答としては。
0:39:42	現状調査を今ちよつと行って、
0:39:45	人数的にはまだ、何年まででない。
0:39:50	まとまっていないという状況です。
0:39:56	必要な要件を整理している段階にあるってということですか。
0:40:02	はいそうです。ありがとうございます。
0:40:07	はい。他に、この一番について何かございますでしょうか。
0:40:14	すいません、検討シブヤですけども。
0:40:17	4 ページの右下辺りの白抜持で技術開発及び現場実装というところがありまして、丸の一つ目として共通的な課題の解決、次に二つ目として、
0:40:29	バックエンド対策費用の削減と、とありますけれども。
0:40:34	この削減というのは、バックエンドにかける、費用の方角を少なくしようということではなくて、浮いた分の、
0:40:44	資金は他のバックエンド対策にまわしていくという理解でよろしいでしょうか。
0:40:55	学園の費用はバックのロードマップ等ぜ、2018 年の中で等を出していますけれども、やはりかなり巨額になっております。
0:41:05	当然ながらそれを、費用の削減をしていかないと、当然そのその巨額を全部やるというのはできませんし、
0:41:16	当然ながら費用を削減していくってことは責務だと思っておりますので、その削減をしていきます。ただしやはり、今おっしゃられた通り、
0:41:26	当然ながら、他のところにも、
0:41:30	利用かかっていきますし、これからその廃棄物処理廃棄体化施設等を整備したりしていく中では、費用もどんどん精査されて大きくなったりするところもあるでしょうから。
0:41:43	本当にそういったところは浮いたというか、削減した資金を適用しながら、充当しながら進めていくという不幸分もあると考えております。両面です幽霊にしても、
0:41:57	全体の 1.9 兆円っていうものは削減しなければいけないという強い責務を持つてると考えております。規制庁長谷川です。理解いたしました。
0:42:09	前回の吹田会議の時に、部長の嶋の方から、事業者さんとしてはコストという意識で、まず、どこから着手するかっていうことを見ていくのに対して、規制庁としてはやはり安全という視点からも見てという視点を中心に、
0:42:25	見ていきますという話がありましたので、
0:42:28	やはり、我々が期待してるのは、そういうバックエンド対策の効率化によって、特にリスクの高いものはコストも大きいという総発電を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:41	あると思われますので、結果的にこの3ページを、4ページ5ページに書かれているものが、適切に推進することによって、
0:42:50	結果的にリスクもやはりどんどん小さくなっていくし、
0:42:54	期間等も短くなっていく、そういうお互いの方向性が一致しているというようなものが読み取れるようになってるといいと思うんですけども、現時点では、
0:43:05	ちょっと削減とだけ書いてあったり、もしくは次の5ページでバックエンド対策費用を削減する課題を優先してこの課題の選び方も単に費用だけで選んだように書かれてるように見えますので、
0:43:17	その辺の表現を検討いただければと思います。
0:43:25	了解いたしました安全最優先にというのはもう機構の方も、どう、法人に入っておりますので、それを踏まえてちょっと検討させていただきます。ありがとうございます。安全を大前提にということで、読み取れるようにお願いできればと思います。
0:43:42	他、いかがでしょうか。
0:43:46	だと、主要版がちょっと通じ販売ということですので初版からもし何かありましたら、番号に限らず、ご指摘いただけますでしょうか。いや、坂内です。
0:43:59	私からいいですか。
0:44:03	サポートです。
0:44:06	こっちの方で、ページ数で言うと、8ページ9ページあたりになるんですけど、今回、リスクを踏まえた優先順位的なところの説明をさせていただいて、
0:44:18	あのさ、8ページ目の方は、おそらくプレートにある関係での優先順位が高いのってところの説明なんですけど、その9ページに行くと、
0:44:29	これ前回の資料ではあると思うんですけど、その本実現東海再処理を最も優先します最優先しますっていうじゃないですか。
0:44:39	そのプルトニウムを優先しますっていうその前のページから、その次の9ページ目でも十分に再処理っていうところの繋がりがちょっと見えなくなっちゃったんですけど。
0:44:51	本実現最初にはどういうリスクで、最も優先をして、そのあとプルトニウム関係で、緑の4施設プラス黒野4施設の施設ですか。優先するっていうような、
0:45:05	説明の流れに一定することができますか。
0:45:14	#####
0:45:26	高放射性廃液を持っておりますし、ふげんなんかもバリアの自治体からも早く進めるようにと、いろいろ言われてるところもありまして、ここはもうず、最優先っていうことはそういうところがありましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:42	このプルトニウムっていうだからこの 4 施設を除いてコイルというのは、及びどれを優先していくんですかっていうところで、すいませんそういう流れに、だから、残りの 36 施設になるんすかね。
0:45:56	そちらの施設についてどういう優先順位をつけたんですかっていう、そういったちょっと説明にしてみましたの資料作成してしまいましたので、
0:46:15	ちょっと
0:46:18	そういうことで最初からもうその 4 施設についてごめんなさい、再処理なんかはもう最初から 4 施設っていうふうに、もう機構としてももう決めておりますので、そこはちょっと。
0:46:29	リスクの考え方っていう点ではちょっと省略記載しないで、次のそこは施設の 4 の方 40 設置の優先順位をどう決めたかっていうふうな記載にさせていただきました。
0:46:42	規制庁タツモトです。うん。原子力機構の中で、その 4 社優先するのは当たり前の話だよっていうことであるのかもしれないですけど、本件は公開の、
0:46:54	議論をしているものであって原子力機構に知らない人、プレスも含めてですね、そのバックエンドをどうやって進めていくのかっていうのを確認している場でもあるので、
0:47:05	当たり前ですっていう説明ではなくて、そのそれぞれのリスクで、どういう考え方で、そことして、もう自由に浅井処理またはプルトニウムっていうところの優先順位をつけてるのか、またプルトニウム以降も、
0:47:18	リスク今 8 ページに書いてもらってますけど、それ以降のリスクに対してはどういう優先順位に考えているのかっていうところの説明をしてください。
0:47:29	わかりました。最初に工藤剣持の方の優先順位の考え方を踏まえた上で最も追加させていただきます。
0:47:41	商売上です。
0:47:46	ありがとうございました。
0:47:47	協会戻りまして 1 については何かございますでしょうか。
0:47:52	なければ 2 の廃止措置について、引き続き、規制庁の方から、質問、コメント等あればお願いいたします。
0:48:07	季節シブヤですけども、その 4 施設部門長等の清掃の取替え資料ということですけども、
0:48:18	このプルトニウムについては、規制庁以外の組織例えばIFカラー、プルトニウムの取り扱いをする施設についても、塩野見込みがないのであれば、廃止を急いで欲しいとかそういうような、
0:48:33	要求とかそれはあったりするんでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:40	特に外部からプリンセスを優先するっていうのは、何々ないと思います。臨床教育は繋いで、わかりました。
0:48:57	はい、ほかに何かございますでしょうか。
0:49:02	そうですねけれども。
0:49:04	8ページのちょっとイトウ説明内容の確認をまずさせていただきたいんですけども。
0:49:13	上の表で運転貯蔵ってあるのは、運転段階ってということですかね。で、敗訴してない措置段階ってそういう意味でいいですかね。
0:49:27	はい。現職かわりその通りです。はい。
0:49:31	で、
0:49:34	プルトニウム、ウランについては、
0:49:38	廃措置段階で、
0:49:43	これ比嘉それには漏えい被ばくのリスクがあるとなっていて、
0:49:50	でこれあの、
0:49:53	修繕料との比較でいうと、プールという欄はその施設内に引き続き保管をする。
0:50:02	そういう前提で書いているってそういうことです。
0:50:08	商品量は基本的に今東海再処理でもですねふげんでもですね、恩智も将来的に施設課に出そうとして考えてますんでそれは廃止措置の段階におきましては。
0:50:20	説明ではないっていう想定で書いています。
0:50:23	いや使用済み燃料はそういうことだとわかっていて、
0:50:27	栗田三浦は施設内で引き続き保管をするっていう、
0:50:32	前提でこういう記載になってるっていう理解で正しいですかという質問でございます。
0:50:39	プルトニウムを何か補完するということではなくて施設を潰す上でのやっぱり機器とか、先ほどもグローブボックスにやっぱり汚染レベルのものがありますんで何かそのMOXの粉末を、
0:50:52	とかプルトニウム溶液を排水段階で持ってるっていう檀組の漏えい被ばくではなくて、あくまでも汚染レベル、そういった機器とかが取り扱って機器が汚染してるという位置付けで記載しております。
0:51:08	施設をイトウさんの方はありがとうございますわかりました。
0:51:12	衛藤その下のポツについてはまたちょっとイトウの確認で、施設は変えるリスクってということで、丸一井。
0:51:23	その資料っていうのは、その書類量の多さ。
0:51:29	というのが
0:51:30	リスクに直結するってことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:35	その潜在的な。
0:51:48	ファックス冷房としてはそうですね潜在的なルール路線のレベルでも、プルトニウムでももともと取り扱っていた何て言うんですかね。
0:52:00	例えば、
0:52:02	プルトニウムのもんじゅの燃料を作ってるところとかですとかですと残っ
0:52:08	そもそも取り扱ってるか、量からした時のその量かなと思う。合図段階の量かなと思ってます。
0:52:17	ダイエット規制庁イトウです。
0:52:20	閉じ込め機能っていうのは、事故時リスクっていうそういう意味合いですかね。
0:52:27	こちらはどちらかっていうと現職の田川です。
0:52:33	次、そうですね
0:52:36	ここんところにグロープルトニウムとか漏えいしてしまいますとやっぱり同じような事故対応とかしなくて一番大きいのはやはり閉じ込め機能かなと思う。
0:52:47	閉じ込め機能排風機とかが止まって、閉じ込めが装置するっていうのがちょっとありますんでそういった意味で閉じ込め機能っていうのを
0:52:58	最優先に考えたっていうところですよ。
0:53:02	規制庁の伊藤ですけども丸さん、耐震性国は耐震性がなんだからリスク何があるっていうことなんですか。
0:53:12	ここは新規制基準の新規制基準とか耐震性でありますとかそういったところかなと思ってますけども。はい。東海再処理施設なんかでも、例えば
0:53:24	忙殺廃液保管するところなんかは地盤改良とか、そういったことをしてたりしますし、使用施設は、
0:53:33	なかったかなと思いますけどそういったどちらかというところかなと思ってます。
0:53:41	規制庁の井戸です。施設によってその耐震性の低さが問題なになり得るので、
0:53:48	それを、
0:53:50	施設の家が抱えるリスクの一つの指標としてとらえたっていうことですか。
0:53:56	そうですね。はい。
0:53:59	やはり経年化は、施設ごとの建屋の古さで高経年化の進展度合いが違うので、古い施設ほどを、
0:54:11	リスクが高まるっていうことなんですかね。ただその政令通り施設改良していけば、これってリスク量になるのかなという気もしますし。
0:54:26	そこはどういう整理でしょう。
0:54:29	藤総研からそれはやはり施設、原子力機構の施設、40年とかそういった古い施設が結構は8割ぐらいあってですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:41	高経年化は確かにそうリスク図書原則あってですね、弁護がモスボールカーって いいですか高経年化してるところはご指摘はメンテナンスとかしていきますので、
0:54:52	そういう意味で少し
0:54:57	そういうふうな対応をしてリスクは下げたいと思っております。
0:55:06	規制庁の藤ですけれども、そのリスク項目として四つを設定していて、それぞれ、
0:55:16	の項目に、
0:55:18	ついて
0:55:21	各施設、
0:55:23	炉の評価をした上で、
0:55:27	例えばフィジー003 かかわかんないですけども、もっと定量的なのかもわかんない んですけども、
0:55:34	をつけた上で、その一番、
0:55:40	リスクが高いとしたのがや。
0:55:43	普通、出てくるってことがある。
0:55:46	だとするとそのすべて、
0:55:49	を比較した。
0:55:51	結果みたいなものが、
0:55:53	減る背景にあるんだと思うんですけども、そういった表記は示していただくことで きるんですか。
0:56:05	すいません。ここは先に施設を、すべての施設についてそういったこの①から④を やったわけではなくて、まずその施設が抱えるリスクっていうのは、
0:56:16	大きくこの四つがあるんじゃないかっていうことでリスクだけを抽出して、こういった ものと、こういうやつがあるんじゃないかっていう問いかけをするものがリスクだ ということで選定して、
0:56:28	そっから次にその施設を選んでいく上で順番にリスク、それから各種土捨場プラト ニウムというその選んだという状況で、この①から④のリスクリスクについてそれ ぞれ 45 施設について評価をしたわけではありません。
0:56:47	だから寿取捨選択をしているっていうことは、
0:56:52	この指標で見て、当然、見る必要ないよねこの施設はっていうのもあるのかもしれ ないんですけども。
0:57:04	その比較検討した過程が多分あるのかなあという気はするんですが。
0:57:10	なのでいきなり結論は、いや、2月の設問ですってなる前の過程をもう少し説明い ただいた方が
0:57:20	確かにこのやつを優先的に進めるべきだよっていう。
0:57:25	説明になるのかなと思ったんですが、いかがでしょう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:37	ちょっと整理しますけれどもRIS食うを
0:57:44	全施設についてリスクの評価をしたとして、決めたわけではないので、ちょっとこのリスクの偉いこの四つ恩田リスクを、何だ、考え方をちょっと説明した方がいいのかなと思う。
0:57:56	まずはいい。はい。ちょっと資料2ではありますので、ご検討いただければと思います。
0:58:03	形。
0:58:05	えっと、同じ8ページ状態これ位の確認だけですけれども、一番下のポツで、そのさらにかから始まる文章で、その廃止措置後の、
0:58:16	少し言って、泉谷家の廃止措置の実施というちょっと何を表現したい文章がよくわからなかったんですけど、ここで言ってるのってどういうことなんでしたっけ。
0:58:38	を速やかに排水が実施できるかっていうことでそこ、括弧書きのところですねこういった条件がそろってれば多分速やかにできるということで、そういった観点からっていうことでございまして、
0:58:49	括弧書きの中を、速やかに小さい数字が実施できる条件。
0:58:53	移行できる着手できる前提条件みたいなのかということで括弧書きの中のそういった条件があるということで、速やかにその、
0:59:02	優先決めたけど、お金も避けたら済むんじゃないやすぐ着手できるかっていうと、着手できない施設もありますんでそれがその下のこれの4施設になるわけですけども。
0:59:15	その下の部分になるわけですけども、そういった趣旨で速やかな廃止措置の実施ができるかどうかという観点でいうことでございます。
0:59:24	ごめんなさいちょっと私の読み方が悪かったのかもしれない。ありがとうございます。
0:59:40	規制とシブヤですけども、同じ8ページの上の表のところ、
0:59:45	ウランのところ、リスクとして被ばくは上がってませんけども、これはラドンとかの子孫核種まで全部含めても、リスクとしては、安全必要はないということでしょうか。
1:00:00	そういったところの等々で入れてありますんで温度があったところ、こういったものでプランのところ、出ますんで、やったと思っている。主要なリスクとしてはこういったものかなと思っております。わかりました。
1:00:13	下のリスク分類でプルトニウムα%学習が一番大きくて、浦幌、次のβγの仲間になってますけども。
1:00:22	その各社まで含めると、アルファ馬場に、
1:00:26	入れるという考え方もあるのかなと思ったんですけども、ちょっとその辺の考え方をちょっと教えていただけますでしょうか。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:02	すいません、状況中で、ウランんの中、量的にそういったものは少ないのかなと思いますので、それはそういったものがあると思いますのはプルトニウムとかっていうよりは
1:01:17	少しランクを下げてるといことで裏の中にも入れているっていう中所、評価です。はい。代表的なことが決めたといことで、はい承知いたしました。
1:01:29	あと集まってその三行下下米印のところ、フィルがmips密閉性が高く、風土開放系であることから取り扱う核種量が限定っていうところは、単純に意味がわかんなかったんですけどこれはどういうこととおっしゃってるんでしょうか。
1:01:50	何でじゃ、ここのグローブボックスを有する施設を選んだところのグローブボックスっていうところで、セルは何でセルとセルとか風土を有してる施設や、
1:02:01	優先しないのかっていうことを踏まえての記載ですね。何でグローブボックスを優先したかっていう、主な姫路市、
1:02:11	はい。プルトニウム用のセルもあるし、プルトニウム用のフードも別の施設とかにはあるというそういうそういうことですか。
1:02:20	そうですねプルトニウムとかを取り扱うフード汚染されたものを、を取り扱うフードですとかプルトニウムが入ってるような整理もあるかと思ひますんで。
1:02:30	そこは除くといことで、やっぱり長期のグローブボックスといことで、すみませんそういうことでグローブボックスに限定させるといことで、スゴウでボックスにさせていただいた趣旨でございます。
1:02:43	はい、わかりました。ありがとうございます。
1:02:46	他に何かございますでしょうか。
1:03:00	関東。
1:03:01	設定値とか、
1:03:05	時間がなくなっておりますけれども、
1:03:08	今、
1:03:09	3 ポツ行きたいと思ひます。3 ポツについてご質問等あればお願いいたします。
1:03:18	ピンポン規制こちらのスゴウです。ちょっと内容見ます。
1:03:26	はい。説明の説明のどこを説明してないんで。
1:03:36	教えて欲しいんですけども、19 ページに、今回の説明範囲っていうことで、原子力の廃棄物等処理が廃棄物の対策について今回説明しますといことなんですけど、
1:03:49	2 ページ以降の話でそのどっちの話をしてるのがいまいちよくわかんないんですけども、もし全体の話をしてるのかとか、
1:04:00	ちょっとそこをまず教えてもらっていいですか。
1:04:12	下旬機構サービサーを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:14	20 ページ以降のところは 20、2122 が機構全体の、
1:04:22	話をしている、
1:04:24	そこからですね 23 のところが、
1:04:29	ふげんのところ除いて原価研蓬萊検討を進めてきておりますのでその部分の説明を、
1:04:42	そこでは、23 から 29。
1:04:46	まででやっていると、というような作りに基本的にはなってます。
1:04:53	いやちょっと、ただですね 20、28 のところは後、機構全体の話になってます。
1:05:06	規制庁の杉田それはわかるんですけど、
1:05:13	現実の廃棄物の話。
1:05:17	なのか、擦り何廃棄物の話。
1:05:22	話、今回の設計面で、基本的にはこれ一、それぞれがどういう、その進捗状況なのかとか、そういう話なのかなあと思ったんですけど。
1:05:34	ただ、例えばその減資 29 ページの減資保険廃棄物は、
1:05:39	施設の確保と設備の設計に必要なデータの取得、施設設備の整備って書いてあるんで、放射能濃度の評価方法の構築だとかは処理何廃棄物の話なのかなとかって思いながら見てんですけども。
1:05:58	どんなの 20 ページとか全体だちゅうお話なんですけどこれは処理が廃棄物の話をしてるっていいですか。
1:06:08	すいません。ちょっと資料の説明が悪くて申し訳ございません。この部分が、
1:06:14	緑色の、この部分が、
1:06:19	うちのバーの前案の施設、設備の設計についてのデータの取得ってようなところで、
1:06:29	実施している部分で、簡単に言うとソフト的な部分の対応をやっていますと、今の対応を行っています。ハードハードの部分は、特にまだですね、んなな、何もいうか、期限で進めているだけなんで、今回は特に説明しておりません。
1:06:53	すいません規制庁数はそうすると、
1:06:57	原子炉系廃棄物で、何か今書いてあるのが、ハードの話なんですかねちょっとよくわかんないけどその前に、
1:07:08	何かソフト的な対応があってその話をされてるってことなのかな。はいそうですね。今の学校にもすぐ時間もないんであれなんで。
1:07:22	その説明がどう説明してるのが、
1:07:29	パイプばかり。
1:07:33	大分わかりづらいんでちょっと整理をまずはしていただきたいなっていうのが、
1:07:39	もう一つ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:42	伊奈D。
1:07:44	結果、
1:07:47	廣瀬廃棄物の話と処理何廃棄物の話の、ここを説明するっていうんだったら、それぞれについて説明してもらっていうのが、
1:07:58	一番わかりやすいと思いますけど、ちょっと整理していただいてよろしいですか。
1:08:09	はい。ちょっとそれは何やってるかですれちよっと入れたいと思います。
1:08:16	ちよっとうまくというか、前々回の続きになってしまうんで。
1:08:22	前回の、
1:08:24	大上知久台事項わ一線の中でも、キャラクターゼーションの状況を説明してくださいということだったんで、
1:08:37	こちらの評価のところを中心に説明をしております。それから下の技術開発のところなんですけれども、基本、前回での説明してるんで、
1:08:51	前回、特にプラスというのは、
1:08:57	なくてですね 27 ページのところ前回とおんなじようなことを少し整理して説明しているだけと。
1:09:09	いう調整になってますんでその辺をわかりやすくなるように、19 ページと 20 ページの間にですね、今回どういう説明をするかっていうところをちよっと。
1:09:21	入れたいと思いますけれども、いかがでしょうこんな感じで。
1:09:26	ちよっと説明いただければ、ちよっとわかりやすいの。
1:09:31	入れてくれれば、それでわかるんであればいい、いいことなの。ちよっと確認はあくまでキャラクターゼーションの話は、この原子炉系廃棄物 10 万本の、
1:09:42	トンん中の話っていう理科いいでいいですかね。
1:09:52	同じです。そうですその通りですただ 12 ページの表だけは、全体、どこまで進んでるかっていうか石野家しか進んでないんで他のところは進んでないっていうところが見えるだけですけれども。
1:10:08	22 ページだけは全体の話になります。ですんでそうすると 20 ページ以降は廃棄物の、
1:10:22	リースの話。
1:10:26	ちよっと 50 ペイジー、この赤本宮路椎野にしてるところがちよっとよくわかんなかったんですけど、これはどういうことなんですかね。
1:10:42	原子力機構ササキです。あと、特に何ですか、上下関係を示しているだけで、基本的には一番基本になるのが、
1:10:53	池処分場の経理部の基本になる、基準でここ出すように、
1:11:01	左っかわの確認要領があって、この確認要領に出すように各拠点のマニュアルができてるってこれが基本のJAの基準類のを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:14	何ですかね、構成になってるんですけども、あと今回キャラ取りゼーションのこの設営してくれという話だったんで追加として、色の、
1:11:26	薄いところの部分を書き渡してるという位置付けで書いてあるんですけど、していただいてあるんですけどもちょっと説明が足りないようなことがあるようなんで少しもう少しわかりやすい。
1:11:40	表現にしたいと思います。基準、マニュアル等で右から左に、
1:11:55	調べてるんだらうなどは思ったんですけど、ちょっとその時に今言ってるのは、今後フィンガまだ暫定版で策定中だっているんで、
1:12:05	何かそれに基づいて何かマニュアルがあっただけというのが、ちょっとが私はあるんですけど、そこはわかりましたというところと、若干基準の中に何かインプットされるデータみたいなのが、例えば作業間に、
1:12:25	あるのを、上の括弧の矢印は何か基準というよりも、何か何かその矢印の意味するところがいまいまいちよくわかんなかったんで。
1:12:38	トーンちょっと整理してもらえればと思います。ただ、真ん中のマニュアルの下の三つの四角がこういう一番上のん中に書いてあるポツが、
1:12:54	何か、インベントリ評価と重要核種選定のマニュアルなのに、何か戦中勝負のために、基準線量相当濃度の検討して書いてて、
1:13:06	これは間違っていないですかネコの湯中身の説明として、
1:13:12	すみません。まず江崎です幾つかあるうちの、ちょっと。
1:13:19	一つ挙げていてこれは重要評価を各種を評価するために基準線量が、
1:13:26	いるという意味でここに書いて書いている資料です。
1:13:33	規制庁の須田間違っていないっていうのであれば、はい、わかりました。
1:13:40	それから、2、22 ページの、昨日原子炉系廃棄物であってそれの方の戦略になるところで、
1:13:53	道中っていうのは、こういうふうになるんですかね。
1:14:11	すみません。ちょっと質問のできなかったんですけども、B棟、それ。
1:14:32	こんにちはなんか。
1:14:34	後回して言ったら、もう温度は排水に入ったばかりなんで、スケジュール的に少し遅れていくんで。
1:14:45	もし立法府行くんで、天田です。今はですね物の処理処分のところのスケジュールが具体化していないんでちょっと。
1:14:56	中途半端な位置付けになってるんですけども、1 度は大橋を越えて不燃原価研の後、
1:15:07	はない。そう。同じくらいのペースかなとはって言ってます。
1:15:16	もう、規制庁のスゴウです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:19	江藤。もう元の 19 ページの原子炉系廃棄物対策の 10 万本に、の内数にはこれも援助も入ってるっていう理解でいいですか。
1:15:29	そうです入ってます。
1:15:32	それと、
1:15:34	大運気中長期の中にはもんじゅも入って、
1:15:39	ちょっと第四期中長聞いてい、29 ページ。
1:15:45	ちょっと 4 機種大きい含めると、
1:15:50	令和 10 年までなんですかね。そうすると何かすっぽり抜けちゃってるような
1:15:58	いらっしゃいますので、そうすると難波スゴウ委員っていうのは、取り扱いなんかは、何か利益は、
1:16:08	方がいいのかな。
1:16:21	ちょっと、規制庁麻生ですが、ちょっと 23 ページの、
1:16:27	この内容物の確認っていうのは、これも、
1:16:31	原子量系廃棄物でいいんですかね、これは処理な廃棄物ではないということではないんですか。
1:16:38	左、左半分が
1:16:42	現状県廃棄物で、議事録、一つは直接機能、中身を挙げて受けてるところはもう別というところと、
1:16:53	ちょっとすいません、スペースの関係上で、処理の廃棄物が右っかわに、ここは入っていますが規制庁、これもちょっとですね。
1:17:03	それぞれの機関として何を考えて検討を説明してるのかがよくわかんないんで、そこは元のコメント泥酔を、
1:17:13	宿題で 900 ペイン調査してるっていうんですけど、これは、
1:17:19	元科研のその圧縮体は 900 本ですべてっていうことでいいです。
1:17:26	いや、2 万本、ちょっと寄付は触れて確かに文言カーと思いますんでそのうちの抜き取りでやってるというものです。
1:17:37	あれですかね規制庁、細谷は
1:17:43	ナンバー2、すべてやる予定はなくて、とりあえず岡井菅と沢。
1:17:53	計八本をしないっていうのでいいですね、なんかそこら辺がちょっとわかんなかったんで。
1:17:59	どんなものが入ってるかっていうか、図一体性者のための調査なんだ大体んや専門くらいで。
1:18:10	とりあえずはやめようかなと思ってます。
1:18:18	を
1:18:24	で今失礼しますキャラクターゼーションってその補宗

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:31	品別途時価濃度評価。
1:18:34	宮井谷津と、
1:18:35	それからその物理化学性の性状の評価っていう頭が開けて、中見てっていうことをやられる。この二つをやることで、この、
1:18:48	廃棄物キャラクタリゼーションがされていくんだと理解してるんですけど。
1:18:54	その物理化学性状借金が、あれですかね。ある程度廃棄物自体が、その何ていうんすか。家庭病理医。
1:19:07	名義できて、その関係のもとなんか
1:19:12	きっとピックアップすれば大体他の網をわかるようなそういう考えでされてるっていう理解でいいすかね。
1:19:23	杉崎ですけれども。
1:19:26	圧縮されたね。ないのが僕の。
1:19:29	別にそんなに一生懸命する必要なくても上げて、どんどん処分。
1:19:39	品川和気ていけばいいんですけども、主体は
1:19:45	もう、面会すること自体が非常に難しいんで、
1:19:51	できれば前回説明したように、平川井川を確認してですね、もう、
1:20:01	どんどんしなくてもいいやつはそのままさせようと思うん考えてるんですけども、ただ、何が入ってるか全然わかんないものの、技術開発をやってもですね、作ってみたら、
1:20:13	何か全然使えないものっていうようなことになってしまうのでまずはやっぱある程度の割合の廃棄物の中が、中身が何が入っててどういう状態になってるかっていうのを確認した上で、
1:20:27	技術を作っていかなければいけないということでこの辺の調査をやってますし、1次等を、
1:20:40	あれですか圧縮体の廃棄体っていうのが、
1:20:46	頭先ほどおっしゃったように、その全体で2万本ぐらいあるっていう話で、そのうち1000万ぐらいでやめようかつちゅうことをおっしゃってたんですけど。
1:21:00	大野郡わー、最近8回のできれば、それ、それ、それは精度良くできればっていう、あそこで進められればいいなあと思ってるっていうそうそういうことなんですかね。
1:21:16	はい、その通りで進めているということで、抜き取りで調査を今までやってきたということですよ。
1:21:25	規制庁ず範囲を持ち、24ページは、2、3年で廃棄体できる、お話されていて、この右のマルとかで検討済みというのは、
1:21:42	当社のヨード評価法の均等痛終わってるっていうことなんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:48	確認までなんですけど、これは 21 ページのこの流れの中で言えば⑤まで終わってるといふふうに考えておけばいいですか。
1:22:02	指導ですね、0 まで終わってると。ただ、この⑥の測定と、
1:22:10	ちょっと番号がついてないんですけど、21 ページ左っかわD測定方法の決定っていうところは、まだ、今後ということになっております。わかりました。はい。ありがとうございます。
1:22:25	すべて。
1:22:27	規制庁のスゴウですが、ただ 28 ページ以降前回の会合でC処理処分戦略みたいな話があったとは思うんですけども。
1:22:43	今の時点では多分、前回もお話したと思うんですけど、そのキャラクターゼーションがしっかり進んだ上じゃないと、その処分までの戦略って立てられないような気がしてて。
1:22:57	なので今、2829 ページで記載されてるのは、
1:23:04	その処理処分戦略というよりも、今ある配置対応、どういった何でしょう。順番で
1:23:15	廃棄体製作だとか、廃棄物確認要領を作っていくかというところまでの方針ぐらいかなあというふうに私は、
1:23:26	なんですけれども、この処理処分戦略っていう、
1:23:31	やっぱ表題でいいんですか。
1:23:38	池崎ちゃん、前々回か。
1:23:43	全国。
1:23:45	前々回ですから、宿題事項で大きく、キャラクターゼーションの状況と処理処分戦略というふうに、なお答えをいただいています
1:23:57	今、スゴウさんがおっしゃられた通り、そ、ありとあらゆる機構を持っている廃棄物を全部処分できますみたいな戦略は、
1:24:09	なかなかそう簡単にはできないんでもうまずは優先順位をつけて優先順位の高いものをどう、どうしていくかというところの説明になっていて、
1:24:20	ちょっと確におっしゃる通りやっていて、
1:24:24	ちょっと今、越智委員だという、中で出されたものにはなっていないのかなあというふうに思いますんで、ちょっと仕えて言ってんであれば
1:24:36	大タイトルは、内容に合ったタイトルに変えたいと思います。規制庁の人がちょっと私前回あの、
1:24:45	確かに委員分ちょっと連絡ってあれだったんですけど、心としては、戦略を立てるにはやっぱりキャラクターしっかり進めないとねっていうところで、
1:24:59	なので、ちょっとキャラクターゼーションどう、どういう進捗なんですかとかどういふふうに進めていくんですかっていうところかなと思っててですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:08	なので戦略は、今はできないだろうとは思ってるんで。
1:25:16	そこは説明される内容に合わせて書いてもらえればいいかなと思います。あとちょっと最後なんですけど。
1:25:28	衛藤工場で不具合が一番多い5万本はっていう話をされてて、
1:25:34	今一番石井衛藤研算とこっちを進めてって書いてあるのはいいんですけど、付言もしっかり書いてもらった方がいいんじゃないかなと思うんですけど、あえてなんか書かない理由とかっていうのはあるんです。
1:25:53	玄関沢です。特に付言最初にもんじゅは、別途、規制庁にイトウを、
1:26:01	やっているんですと。特にここで議論してもしょうがないんはどっちかというあんまり議論してない。少し小さな原価県とかそういったところの状況を、
1:26:12	ご説明した方がいいのかなということで、今原価県中心にですね、検討の状況をまとめてます。
1:26:24	規制庁の宗です。
1:26:27	インケン君減。
1:26:30	去年、何かあれですよ。我々、何か確認できる会合的なもので審査会合しなくて、
1:26:41	こういう何とかチーム加力みたいな表現はないんで、そういう意味では書いてもらったほうが良いと思いますし。
1:26:54	一般の10万分数とかに入って、
1:26:58	てるんであれば、
1:27:00	さっきも質問しましたが、
1:27:05	どういうスケジュールなのかとかっていうのが、こん中で示してもらえるとありがたいなと思ってますはい。
1:27:17	戸部記者最初ちょっと日々、今回7月末にやるのは厳しいですかね。
1:27:29	藤。
1:27:31	この辺広報とかもらってないんですからねこれからもらって整理ということになると、ちょっと今回聞いてるんなら別にその辺どうでしょう後何かご意見あればお聞きしたいんですけども。
1:27:44	すいません。
1:27:47	すいません。何か具体のはなCO、例えば何だろう。今原価件でな、どれぐらい進んでますっていうのが23ページ以降あると思います。そういうのを示してもらいたいわけじゃなくて、
1:28:03	答申スケジュールとかの中に入るんだったら、この部長数を得てとかっていうんじゃないんで、今回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:13	入れられるなら、ここのなんか線表とかに入れてもらえればいいなっていうぐらいなんですけど、それも難しいちゅう話ですかね。
1:28:25	ちょっと不明に確認します。何だろう、地元と。
1:28:34	両改良課からの方が多いわけですけども公開している、全体のスケジュールはあるはずなんです。そす。
1:28:42	それ1、一部の29ページの、
1:28:46	下の部分。
1:28:48	これになってるんですけどもこの元になったものはあるんでちょっと出せるかどうか、確認いたします。
1:28:58	はい。規制庁の杉です。はい。何かあれですよ。イメージもあるんじゃないや、ふげんもやけくその御原価県と同じような。
1:29:13	放射能濃度の評価だったり物理化学性状の評価だったりみたいな、されてるっていうことでいいですよ。
1:29:25	そうですね別はもう保管廃棄物はしばらく前からやってますし、横尾作るための分析を進めているというのもやってます。
1:29:41	規制庁宗です。あれですか、もう問題は原発線が一番大きいのかよくわかんないんですけどちゅうことでっていうことなのかもしれないんですけど、何か
1:29:51	すいません。杉の方にちょっと確認いただいて、このスケジュール
1:29:56	ぐらいであれば、
1:29:58	何か足並みそろえてぐらいよりはもうちょっと変えてもらえるといいかなと思ったんで、検討いただければと思います。よろしく願います。
1:30:10	白井商事しましてちょっと検討いたします。
1:30:16	はい、規制庁シブヤです。全体的な時間を捨てますので、特にスライドの修正が追加が必要な案件に絞ってコメントいただければと思いますけれども、何か規制庁側からございますでしょうか。
1:30:33	規制庁の伊藤ですけれども、17ページについて確認させてください。日本再生のモデル事業ということで、そのモデル事業。
1:30:46	未獲られた上で、こういう観点で、
1:30:50	その工程なり経費の圧縮ができましたっていう説明されてるんですけども。
1:30:58	その主な成果のところ、期間が圧縮できました。で、経費も削減できました。
1:31:05	で、それ以外のことで情報共有サポートっていうのは、レッカーできますっていうこと。
1:31:13	まず、
1:31:15	最後使命のところ、でられた成果はっていう。
1:31:19	いうふうにとめられてるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:22	結局その、
1:31:25	経費、費用の集中とかあの人を手当って、今後すべての施設にできるわけではないのだとすると、
1:31:32	それ以外に獲られた成果、
1:31:36	王道を活用することで、その後の、
1:31:41	廃止措置が加速するのかっていうのが大事なのかなと思うんですが、そういった点で何を共有できて、どんな効果。
1:31:54	今日見込んでいるのかってのは十分表現されてないのかなと思うんですが、そこは何か書けるんでしょうか。
1:32:16	状況のキタガワですけども、今現在こういう今試行中ですのでこういう成果が山ソースホカホカの成果もこれからいろいろ出てくるかと思しますので、そういった成功事例、
1:32:29	繋がるようなことは
1:32:32	我々が一緒にサポートしてませんその中で共有できますのでそれともうそれから武ティンとかの方にもこれ、
1:32:41	もともと予算の中でどう、CAPE切り込んでいけるかっていうことだったので先ほど茨木さん拠点での会議ですとかあとこういった今、
1:32:54	打ち合わせるかもしれないけどそういったところに今別の抗力の施設であるところの施設の部署もですね打ち合わせとかにも参加とかしてですね。
1:33:05	情報を共有しておりますので、そういったことで
1:33:09	定着を図れていけるのかなと思ってますんでこの記載で十分かなと思っておるんですけど。
1:33:19	その情報共有をしてその有効だと思われるものっていうのはどういうものがあるのかっていう、何か類型化したものとか
1:33:29	例示で、こういうものが効果的だと思われるっていうのは、
1:33:34	何かやられるものがないんでしょうか。なんか余りにも説明がばくっとしていて、
1:33:40	お金と人以外の点で、何が有効なのかとか、いうのがちょっとわかりにくいなと思ってらるんですが。
1:33:56	では東京事務所メグロですけどもよろしいでしょうか。モデル事業、ようやくと1、初めて1年終わった段階で、最初のモデル事業の施設の廃止措置が終わるのにもあと4年かかる段階で、
1:34:09	ようやく低迷した成果が出てる方だと思っていてそれを類型化するにはやはり一つの冠水を施設の完成は終わらないってなかなか難しいと思っていますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:21	もう、まだこの段階でそういう意味では、始めましたぐらいの話なので今後、きちんと、またその辺は成果は類型化してどういうふうに生かしていけるかっていうのは整理していければと思っておりますので、
1:34:37	現時点ではなかなかちょっと難しいかなと思いますが、
1:34:43	ホテル事業自体は何時から何時までで終わるっていうスケジュール感はどっかで示されるんですけど。
1:35:01	事業が終わるスケジュール感ってのはちょっと先ほど画面系の資料の、
1:35:08	何でしたっけ。藤。
1:35:14	10、11 ページ 12 ページですね
1:35:19	そこでいうと採取、11 ページの再処理特権等、あと、次のページの3の古井古井研究員等がモデル事業になってまして。
1:35:30	鳥居県警とは今の目黒部長おっしゃったように、今今数は計年度ぐらいには終わる措置が終わるような見込み。
1:35:40	それから再処理特の方は、とじゅその下にありますが各委員会では令和17年度ごろになるというそういう見込みでございます。
1:35:53	そうするとあれですかね、モデル事業が終わるタイミング、随時情報共有展開されるんだと思いますけれども。
1:36:04	その一つを終えた段階である程度共有すべきものがまとまってくるっていうイメージを持っていただければいいんじゃないでしょうか。
1:36:20	終わりかけて出てくるところもありますし何か機器廃措置モデル事業自体も長い作業になりますんで、そこで適宜られたものについてはタイムリーにやっぱり
1:36:34	図発信していきたいと思っております。まとめて発信していきたいと思っておりますけれども。はい。
1:36:49	が必要なものは随時展開されればいいんだと思うんですけども、その、
1:36:55	どう段階的にアウトプットを出していくのかとか、取りまとめていくのっていうのは、わかりにくいので、そこがわかる考え方わかるような説明を少し、
1:37:08	さしていただくと良いのかなと思っております。
1:37:14	はい。そういったところは拠点の方もやっぱりこういった技術の継承とかそういったところも含めてですね多分レポートなんかに
1:37:23	一番最後にまとめなんだ、元算の方であったでは一番最後にまとめるとやっぱり大変なるんで、もう
1:37:29	何であるまとまりの中で適宜レポートにまとめていくっていうなことも考えてますんでそれを踏まえて、バックの統括本部は、まとめて、
1:37:38	それを付議させていただいて展開していきたいと思っております。はい。ちょっと資料上の表現は工夫していただければと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:50	ちなみに、17 ページで他拠点の、
1:37:54	そっちは藪。
1:37:55	赤尾工場っていうのはどういう意味なんですか。
1:38:00	特徴施設の特徴っていうことだったらバックカーかなとは思うんですけど。
1:38:15	結果組織組織の下かその組織の関わり方とかですなそういったところを例えば一つの
1:38:28	何ていうかねこういうなソース拠点ごとに組織的なところの繋がりもちよっと若干違うようなところもあってそういうところで文化が若干、
1:38:37	例えば廃棄物の処理っていうところも文化的なところで違うということもありますんで、いろいろばかりを進める上ではそれぞれ、
1:38:48	各拠点のやり方っていうのがちよっと、あるように思いますのでそれとちよっと文化っていうのをちよっと。
1:38:55	記載させていただいて、1、
1:39:01	それもハードルになってると。
1:39:11	すいませんちよっと違う話でもう1点だけ。
1:39:15	一番最後の2 ページで、
1:39:19	表をつけていただいています、
1:39:24	当機構の下のところは空欄のところもあるんですけども、この表は記載いただいている施設については、これでも完成しているっていうことなんでしょうか。
1:39:34	それともこれ、
1:39:35	記載から示していただいている施設も含めてまだ作成中っていう、
1:39:40	見方をすればいいんでしょうか。
1:39:44	それ、原子力、本日ご提示するのはあくまでも的場安井、この実施状況と今後の見通しということで、アドバイスをいただきました
1:39:56	それを踏まえてちよっと現時点で書きぶりとかを踏まえてこんな感じ、まだ精査中で抜けてるところをこれから報告していきますし、
1:40:12	はい。だから45 施設全部書くつもりではいるんですけども、まず記載の、これから各拠点にちよっと振るいろいろこう振らない等、ちよっとつくれるものですから。
1:40:23	基本的には
1:40:26	横の項目は
1:40:29	コメントいただいた中身で項目にしておりますとあと縦の項目は再処理とか、非常にちよっと細かいんですけど、一応
1:40:37	まずは、廃止措置に向けた準備とですな施設の廃止の状況と実際のその排水のことに二つに分けさせていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:48	上にその準備の状況ですとかは、具体的に配置をもう進めているところですよといった工事の進み方みたいなところを
1:40:58	や、記載させていただいて、それに対して令和4年度の結果がどうであって、評価が0であったり、うまくいってないものは三角とか言ってな全く駄目だな×とか、特に三角バツが出てきますとおそらく、
1:41:15	一番右の欄に、課題とか見通してみたいことになるかと思えますけども、そんな、こういう構成でよろしいでしょうかってちょっと、
1:41:24	ご相談で待って一応ご相談違う。
1:41:28	これから各2個こういった中身で、次の監視会議の資料は、出したいと思っているんです、ですけどもいかがでしょうかということです。
1:41:38	規制庁井藤です。そうですね表現とかまとめ方としてはこういう、
1:41:45	感じなのかなと思いますが、ちなみにその施設五島の、もう少し数年単位の。
1:41:56	工程線表みたいなもので、施設中長期計画の中に施設ごとの出ましたつけ。
1:42:07	はい。あれは施設ごとの出てるんですけど、今、前、全体的には正直例の通り進んでない状況です。なるほど。
1:42:18	経営はいどうぞ。それでですね、今中長期計画をや先ほど冒頭申しましたけどやはり広く浅くやっているとなかなか進まないものですから、集中してやっていこうということで、
1:42:31	今年度まだ施設中長期計画改定してないんですけども、そういった今後の予算の状況を踏まえまして見直すことで、当面この矩形4施設のうち、中長期計画を載せるつもりでいます。
1:42:47	その他については、特に結局、なかなか変えても進まないところがあるので、そこは逆にこういった、
1:42:56	今、
1:42:59	中で、実施状況とかを説明させていただくのかなと思ってますんで、先ほどありましたけども、そういった意味で4施設の、先ほど1112ページが、
1:43:10	優先をしつつちょっと一部一つ今やってる施設があり、愛想ちゃってる施設がありますけども、
1:43:16	現状こんな案であるということは、今お示しできる案として考えてるスケジュールだっていうことこれが大体今考えてる。
1:43:27	施設中長期載せるスケジュール感になって、これ以外はもう載せない。
1:43:34	というような感じで今、機構内で調整してます。
1:43:39	じゃ、次の施設中長期にはその動いてるものが貸せるってことなんですか選挙は。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:49	その予定でいます。おられる方、今まで毎年度改定していたんですけど、一つこれが決まればもうそれで、そうですねこのよりも優先してやっていく施設ってのはこれで決まりますので決めたということで、
1:44:10	後は適宜追加で何かハウス注する施設ができたり、大きな変更があったときに、施設中長期計画を見直そうというのを考えてます。
1:44:21	規制庁イトウです。
1:44:24	衛藤。
1:44:27	今回お示していただいた表ではその直近やることはわかる。
1:44:33	ですけれども、全体の中で、じゃあどの部分に、どの段階にあるのかっていうのは、
1:44:41	やはり今ややわかりにくいかなと思ってそういう意味で線表が施設ごとにあれば、どう段階にあるのかっていうのも含めて併せてわかるのかなと思ったんですが。
1:44:53	それは、
1:44:54	見せられる施設とそうじゃない施設があるってそういうことなんですかね。
1:45:05	東京事務所メグロですけれども、今のところ労組の優先施設以外には進まないの で、その施設、それ以外のすべての維持管理、
1:45:17	という状況にしかなくてあとは細かなところで、拠点でブロックして少し対策で進めるところがあると思いますけどそれって長期計画が立てられるものではないので、
1:45:28	この年度計画は毎年機構として公開してますので、その年度計画の中で記載、見ていただくという形になっていくと思います。
1:45:40	規制庁糸井さんありがとうございますそうしましたら、
1:45:44	今、もう少し長期の線量を示せるものについては選挙も合わせて、つけていただいて、優先施設をパワーポイントの中に、
1:45:56	準備いただけるということだと思いますけれども。
1:45:59	つけていただいて、そのつけられないものについては進められない理由つけられない理由とともに、こういうところは見つけられないっていうのがわかる資料構成にさせていただくことができますでしょうか。
1:46:19	そこのところは、まだ施設通所計画の改訂版に関して、まだ、
1:46:29	検討中で、まだまだ文科省ともいろいろ調整していかなければいけない段階ですので、この段階でお示しすることはできません。へえ。
1:46:39	あるとしたら、では、今用意いただいている表の中で、
1:46:46	廃止措置完了目標時期みたいなものが示せるものはそういう項目を追加いただくのはできますか。
1:46:55	現状まだ予算確保に関して長期展開が、
1:47:01	見通せないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:03	もし書いたとしても今の設置場計画と全く同じで、約束守れない。
1:47:10	年度を変えてしまうことになるのでできればそういうことはしたくないです。
1:47:15	なるほど。
1:47:22	それだけ施設ごとにかかる施設を書けない施設があるっていうよりは全体的に難しいということですか。
1:47:30	そうですね今優先している施設に関しては、何とかお金を充当してやっていきますので先ほどパワーポイントに示したように、終了年度もある程度予想でかけます予定で書けますけれども。
1:47:43	それ以外に関しては、なかなか難しいと思います。
1:47:58	であれば示せるものについては
1:48:03	今言っていたように手当がされていて、
1:48:09	目標時期を明確に書けるけれども、そうでないところはこういうふうこういう理由で記載をしていないっていう示し方はできますか。
1:48:23	理由。
1:48:26	なかなか、
1:48:28	個別施設についてはなかなか難しいと思いますけど、全体的には、
1:48:36	一応書いてある程度書いてあると思いますけど。
1:48:39	今後検討中みたいなのところから、
1:48:42	優先施設のところだから、
1:48:52	8 ページ。
1:48:59	一番下ですけど、
1:49:04	それ残る 30 日率については、
1:49:08	やっぱりよ、予算の状況等に応じた排泄にですね条件とした上で実施する予定以上のことはなかなか難しいかなと思います。
1:49:26	裏を返すとその手当がされれば、進められるんですが、そういうことだってことですね。
1:49:36	それは今かなり物価上昇等も含めてかなり厳しい状況にありますので、
1:49:43	当然我々としては、予算獲得の努力も続けますけれども、
1:49:49	進めなかなか見込み薄ですので、
1:49:53	これ以上のことの記載はなかなか難しいかなと思います。
1:49:59	施設のイトウです。わかりました。はい。ありがとうございます。
1:50:13	はい、渋谷です。他に何かございますでしょうか。
1:50:19	30 ページ、ありませんか。質問、意見交換の。
1:50:27	実行されてる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:35	4章の技術項目については、追加修正をいただくという観点では特に質問ありません。
1:50:50	結果として何かありますでしょうか。
1:50:57	はい。
1:50:57	本日はヒアリング、すいません。
1:51:01	はい、東京事務所の河村です。1点だけ別紙の表についてですね、一応先ほど議論の中でちょっと伊東さん仰ってみなみたいになちょっと細かい。
1:51:11	線表をご提出ができないという状況はご理解いただいたと思うんですけども、そういった場合にこの表自体ってやっぱり必要ですかね、優先施設の方で線表示させていただくと。
1:51:25	ある程度ご理解いただけるのであれば、とは思ったんですけどもその辺はやや全体。
1:51:35	この進捗をまず取り組み状況を確認をしたいというのをもとにあるので、これはまず必要だと思って、この表自体の質、各施設について必要だと思っていて、
1:51:47	で、それに加えて全体像がわかるものとして、製氷線表はあのご提示にご提示できないのかっていう話だったので、この表がいらぬという話は一切してないです。
1:52:00	承知いたしました。ではご提示させていただいたフォーマットでちょっと中身を埋めた形でですね当日ご説明させていただこうと思います。ちょっと1点が相談上でも以前記載させていただいたんですけども。
1:52:14	40と再処理についてはおそらく本表に落とし込んだときにかなりボリュームになってしまうかなと思って、衛藤主幹国井神戸合流します。また文字再処理は先ほど来の説明でもあった通り回収会合の中でこちらからいろいろ説明させていただいておりますので、
1:52:31	今回はちょっと詳細を刷新会議の方で説明しますということでかなり簡略したような形の記載を考えてるんですけどもそういった対応でよろしいですかね。
1:52:44	どうですか。
1:53:15	はい規制庁の伊藤です。どこまで完了、逆にするのかっていうのは、さじ加減あると思いますけれども。
1:53:23	多少コンパクトにする工夫は別にさせていただいてもいいかなとは思ってます。
1:53:30	承知いたしました。記載については改めてなどするか検討させていただきますけれどもまずそこはある程度レベル感違う形で持ち対象については対応させていただこうかと思います。
1:53:44	はい。以上です。私からは以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:48	はい。では本日の面談はここまでいたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。
---------	---

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。